



# 種 高 魂

3 月 号

令和3年3月22日発行

岩手県立種市高等学校学校通信

## 1年間の頑張りを互いに讃え合おう、4月から今以上にやりきろう

### ～ 令和2年度末 終業式 ～

3月22日(月)に今年度の終業式がおこなわれました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、何をすることも「予防」を念頭におきながらの学校生活でした。そのような中、お互いに協力し合い、助け合いながら学校生活を送ることができました。このことを讃え合い、新しい令和3年度をより良いものにしていきたいと考えております。

#### 【 校長講話 】

皆さんこんにちは。

令和2年度も本日で最後となりました。

皆さんの前でいろいろな話しをしてきましたが、本年度の最後に「謝る」という話をしたいと思います。

ドラマや映画で、主人公とかがいろいろ言いたい放題言ってから、「ちょっと言い過ぎた、ごめん」とか「昨日は悪かったな、ごめん」とか言う台詞が耳に付きます。ちょっと場面設定がわかりにくいでしょうか。皆さんは気になったことはありませんか？

先生という職業柄、間違ったら謝りなさいと指導してきました。しかし、さっきのような言い方は何なんだろうと考えます。言いたいことを言い合える関係というのは素敵です。言うだけ言って、お互いに明日に向かって笑い合える。そんな小説のようなマンガのようなことは現実にはなかなか起こりません。ひょっとすると、そのような場面設定をしている人、台本を書いている人は、私ぐらいの年代なのではないでしょうか？皆さんは余り知らないと思いますが、武田鉄矢の「金八先生」、山下真司の「スクールウォーズ」当たりでしょうか。殴り合いをして吐き出すことを吐き出して、最後に「ごめん」といってわかり合える。そんな青春ドラマが昔はありました。

しかし、最近見るドラマでの台詞は、決して「わかり合える」場面にはならず、言いたいことを言って、聞く側がひたすらその暴言のシャワーを浴びて、そのあげくに「さっきは、悪かったな、ごめん」です。ドラマは、それでいいですが、現実世界ではこの暴言のシャワーを浴びた者の心は決して簡単には修復されません。その人自身も気づかぬうちに傷が深くなり、あるとき何気ない言葉がとどめを刺すことになるかも知れません。

気がつきましたか？謝った人は、自分の一言で相手との関係が修復されたと思っている。謝られた人は、気持ちでは相手を許そうと思って心も心の傷が治るかどうかは自分でも分からない。謝られたのにすっきりしない。そのうち、気分が悪いのは、体調が悪いのは、あいつのせいだ。許せないという状況が生まれます。

謝る。大事なことです。謝る前に、これをしゃべったら相手が傷つくぞとか、相手を窮地に押し込めてしまうぞとか、しゃべる前にワンクッション置いて考えましょう。思ったことを、脳みそも経路しないで口から出すのは小学生など小さい子どもがすること、君たちはいつまでも小さい子どものままでいてはいけません。大人になりなさい。考えて行動しなさい。

「ごめんなさい」を言ったならば、なぜ謝らなければならなかったか考えましょう。どこでそうなったのか、他の選択肢は無



かったのか考えましょう。

よくみるテレビドラマに「相棒」というのがあります。2月のある放送では、めがね会社を別な会社に合併させようとしていると思込で、めがね職人がその人を殺してしまいました。本当は、会社の基盤を強化して、工場も拡張して職人も増やそうとしていた。でも、犯人はそれを知らずに殺してしまいました。

人は死んだら生き返りません。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響でしょうか、小中高校生の自殺が増えたとニュースに出ていました。原因は様々でしょうけれど、誰かの一言や、舌打ち、「きもい」などの他愛のない口癖なのかも知れません。謝る前に、考えましょう。謝ったなら、繰り返さないようにしましょう。

今日の話はここまでとします。命を大切に。一年間ありがとうございました。

## 素晴らしい功績が表彰されました

### ～ 各種表彰式 (3/22 月) 受賞者紹介 ～

表彰名	科	学年	氏名
危険物取扱者試験 甲種	海洋開発	2	下田 拓也
危険物取扱者試験 乙種全類	海洋開発	2	神山 遼 野田口 太瑚
第15回洋野町読書感想文コンクール高校の部優良賞	普通	2	板橋 麻祐
日本漢字能力検定 準2級	普通	2	坂下 恭梧 澤口 琉称 関端 あさひ 館野 愛菜
日本漢字能力検定 3級	普通	1	濱道 芽衣 松川 明香音
実用英語技能検定 準2級	海洋開発	2	森 海斗
洋野町教育振興会表彰			
・高校生ものづくりコンテスト2020岩手大会測量部門 第2位	海洋開発	2	久保 恭介
	海洋開発	1	細井 遊翔 細谷地 唯力
・第53回岩手県高等学校新人大大会以リツク 競技 入賞	海洋開発	2	角嶋 優美 梶本 怜那 澤山 翔
	普通	2	北山 莉音 平中 悠斗

1カ年皆勤	普通	2	鹿糠 朱理 北山 莉音 小向 綾香
			坂下 恭梧 佐々木 優風 澤口 琉称
	海洋開発	2	杉 沢 真央 関端 あさひ 槻木澤 ちひろ
			山崎 真朋
普通	1	穴津子 空良 梶本 怜那 久保 恭介	
		澤山 翔 下坪 颯汰 下田 拓也	
海洋開発	1	平中 悠斗 高谷 佳希 滝田 太一	
		馬場 斗一	
普通	1	岩脇 雅実 杉 沢 楓 中村 恭介	
		信田 友 濱平 菜那香 濱道 芽衣	
海洋開発	1	松川 明香音	
		石原 奏太 伊藤 颯大 大久保 恭亮	
普通	2	角嶋 煌雅 釜戸 幸樹 細井 遊翔	
		熊谷 愁 細谷地 唯力	
1カ年精勤	普通	2	館野 愛菜
	海洋開発	2	小子内 海登 野田口 太瑚
	普通	1	大久保 壮綺 関端 あかり 宮澤 桃子
	海洋開発	1	近田 陸斗 坂本 茉子

本校1,2年生の皆勤者率  
= 43.8 %  
素晴らしいです!!



## 難関資格(危険物取扱者 甲種、乙種全類)合格の快挙 ～ 2K 下田さん、神山さん、野田口さん 各種報道で紹介 ～



[高橋支部長より表彰状を授与されました]

1月に実施された危険物取扱者試験において、海洋開発科2年の下田 拓也 さんが最上位資格である甲種に合格しました。甲種免許は各研究所や工場等で、爆発や火災のリスクのある試薬を管理する責任者になれる資格であり、大企業等に就職した場合には会社から取得を命じられることもあるほどの資格で、乙種1～6類免許のうち4種以上取得していることが受験条件とされています。過去にもこの資格を取得した県内高校生はいます(本校も今までに2名)が、そのほとんどは3年生で、2年生が合格できたことは快挙であるということでした。

また海洋開発科2年の 神山 遼さんと 野田口 太湖さんは乙種全類(1～6類)を取得しました。この取得も非常に素晴らしいものであります。

上級資格を3名取得したことで今回は県消防試験研究センターの高橋 徹 支部長が4日(木)に来校し、3名へ表彰状を手渡してくださいました。そこで神山さんと野田口さんは「次回は甲種を受験し合格する」ことを高橋支部長に誓いました。目標達成のためにこれからも努力し続けてほしいです。

このことは10日の東北デーりに掲載されました。



[デーリー東北記事(3/10)より]

## 4月行事予定

日	曜	行事等
1	木	年度始休業
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	新任式 始業式 身体測定(2,3年) 4校時授業 【給食あり】
8	木	6校時授業 【給食あり】
9	金	入学式準備 3校時授業(午前授業) 【給食なし】
10	土	

日	曜	行事等
11	日	
12	月	入学式 PTA入会式 【給食なし】
13	火	対面式 部紹介 身体測定(1年) 【給食あり(以降は通常どおり)】
14	水	基礎力確認調査(1,2年) 情報モラル講座
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	応援歌練習 各種委員会
20	火	北東北高校生 インドアソフトテニス大会(八幡平)

日	曜	行事等
21	水	
22	木	
23	金	JOC全国ジュニア選手権(スリング・横浜) 高総体地区予選(卓球・大野)
24	土	春季高校野球県北地区予選(軽米) 高総体地区予選(バドミントン・久慈)
25	日	
26	月	
27	火	結核検診
28	水	尿検査 進路希望調査(1年)
29	木	
30	金	

## 高校の魅力化促進事業・我らが町をきれいにする ～ 角浜小グラウンドへベンチ贈呈 ～

本校では今年度の「高校の魅力化促進事業」を以下のとおり目的・取組内容を設定し取組を実践してきました。(詳細は2月号にも記載してあります。ご覧ください。)

### 【目的】

自然豊かな「我らが町・洋野」に貢献できる人材の育成を目指すとともに、諸課題を解決する能力を育てる。また、方策について考える思考力を備えさせ、地域の活性化に尽力できる人物の育成を図る。

### 【取組内容】

- ・「我らが町」を知る
  - ・「我らが町」を伝える
  - ・「我らが町」をきれいにする …
- [担当] 普通科2年  
[担当] 海洋開発科

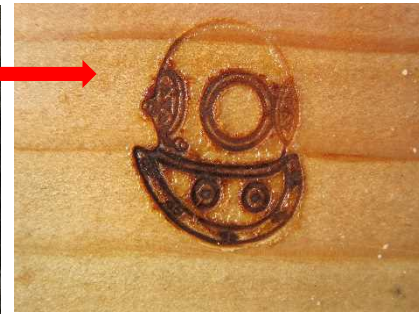
今回は、海洋開発科生徒が取り組んだ「我らが町」をきれいにするについて紹介します。

海洋開発科では日頃より授業で学習し、技術を磨いている溶接技法による作品製作を通じて、我らが町・洋野町に貢献できないかと考え実践しました。計画当初はゴミステーションやゴミ箱の作成を考えたようですが、町立角浜小学校より「校内グラウンドのベンチが老朽し、新しいものにしたい。改善の方法はないものかとの問い合わせにより、ベンチの製作をおこなうことに決め取り組みました。その後、ベンチが完成し、5日(金)に角浜小で贈呈式をおこないました。小学生たちは真新しいベンチに興味を持ってくれて、製作した私たちも達成感を味わうことができました。

なお、本事業には1月に開催された県高校生溶接技術競技会で優勝(東北大会への出場予定、2月号でも紹介)した海洋開発科2年 立花 旭 さんも参加しており、小学生から感謝の言葉をいただきました。



[完成したベンチ]



[南部ダイバーの焼印(小学生から人気)]



[製作途中(もうすぐ完成)]



[製作した生徒代表挨拶]



[角浜小の児童と記念撮影]



[みんな興味を持ってくれました]